



京都植物園の冬芽観察と宝ヶ池の水鳥観察会の記録

- 1 : 集合時間・場所 平成 30 年 2 月 15 日 (木) 京都植物園北山門 (地下鉄北山駅) 10 時集合
 2 : 参 加 者 浅野、大石、児玉、後藤、倭、日景、中西、万井、奎三+植物園内ガイドさん 10 名
 3 : 持ち物 弁当・水筒・双眼鏡・防寒服・図鑑等々

京都植物園北山門内で 10 時にガイドさんと落ち合う約束をしていましたが、当日 J R 電車で遅れがあり全員そろそろまで少し待ちました。その後、全員そろいガイドさんの紹介を済ませ、早速園内のガイドが始まりました。

特に冬芽の観察を中心にお願いしていました。ガイドの鈴江さんはツバキのある場所へと向かいました。途中にあったコクサギ (コクサギ型葉序・・・葉芽がニコニコになっている) の冬芽の付き方や三大美芽 (ネジキ、ザイフリボク、コクサギ) の説明をしていただいた。



コクサギの冬芽の説明



静かな京都植物園内



熱心に質問を?

ツバキ木があるところで珍しいツバキを見つけました。葉がまるで杯のようになっています。そこで付いた名前が「サカヅキツバキ」だそうです。



盃のようなサカヅキツバキ

日本園では早春の花が咲いていました。セツブンソウ、フクジュソウ、バイカオウレンなど可憐な花が咲いていました。カワラハンノキも咲きそうです。



セツブンソウ



フクジュソウ



バイカオウレン

カワラハンノキの雌花は雄花より上部に付いています。同じように雌花が上部につくのはオオバヤシャブシ、ヤヒメヤシャブシがあります。

しかし、ヤシャブシは雌花が雄花の下につきます。また、ヒメヤシャブシは雄花雌花ともに垂れ下がります。

早春の花展が開催されていたので、ガイドさんとお別れした後に見に行きました。



カワラハンノキの尾花雄花雌花



室内は温室のようです

食事をした後、北門まで返り、地下鉄にのって国際会館から宝ヶ池に水鳥を見に行きました。オシドリ、マガモ、ヒドリガモ、等々が見られた。観察後、反省会を開き駅で解散しました。



← **オシドリがいました**



宝ヶ池を一周しました